

クローズアップ マイタウンJOTO

董中学校 吹奏楽部

みんなの心が一つに この感動を伝えたい

季節のコンサートをはじめ、区内のさまざまなイベントに積極的に参加している董中学校の吹奏楽部。区がめざす「音楽あふれるまちづくり」の実現にも欠かせない存在です。その董中学校の吹奏楽部が、昨年11月に開催された「第30回全日本マーチングコンテスト」で金賞を受賞。そこで今回は、金賞に輝いた董中学校吹奏楽部の皆さんに全国大会までの道のりや大会にける想いをうかがいました。

もう一度、全日本をめざして

管楽器や打楽器を演奏しながら行進する演奏形態、もしくはそれを行うバンドのことを「マーチング」といいます。

マーチングは、やり遂げたときの満足度が高く、小・中・高の吹奏楽部で採り入れている学校が増えています。

董中学校の吹奏楽部も座奏(座って行う演奏)だけでなく、マーチングを採り入れ大会にも参加し優秀な成績を残しています。平成25・26年度は金賞、27年度は銀賞を受賞。3年連続、全国大会に出場しましたが、昨年度は惜しくも出場を逃しました。今年度は全国大会金賞をめざして、部員たちは学業と両立しながら、日々の練習に励みました。

顧問の谷本卓先生は「3年連続全国大会に出場すると、それがあたりまえになり、プレッシャーを感じる子もいます。昨年度、全国大会に進めなかったこともたちのためにも『もう一度、全国へ』という気持ちが強くなりました」



▲顧問の谷本卓先生

直線なの？曲線なの？

マーチングで使用する曲が決定し、基本的な動きが決まったのが6月頃。マーチングの大会が始まる9月まで3か月あります。しかし、それまでの間に座奏で競う「吹奏楽コンクール」がありました。

8月11日の府大会(金賞)、8月26日の関西支部大会(銅賞)を経て、過密スケジュールのなか、9月からようやくマーチングの本格的な練習に入りました。

行進は「1歩=62.5センチ」「バック時、振り向かない」「ひざは曲げない」など基本のルールに従わなければなりません。重い楽器を抱えバランスを崩す子、膝がこわばってカクカクになる子…行進の列はゆがみ、直線なのか曲線なのかかわからない。「どこから指導しているのか。ただ、部員の力を信じて、改善点を伝えていただけ」と谷本先生は振り返ります。

周囲の支えが力になった

出場者51名で行うマーチングの練習



▲何度も繰り返し、根気よく形にしてい



▲迫力ある演奏が教室いっぱいに響く

は、広いスペースが必要なため、運動部がグラウンドを譲ってくれ、保護者が奈良など遠方の体育館を探してくれました。また、保護者が撮影したビデオを確認することで隊形の完成度をより高めることができました。全国への道のりには学校や保護者の支えは不可欠でした。

地域の人々への感謝の気持ちも。「『また(練習が)始まった』と思われていないか心配でした。同じ曲、同じフレーズばかり、何度も繰り返す。日に日に音が大きくなります。そんなとき演奏会のアンケートに『だんだんうまくなっていますね。楽しみにしています』と回答をいただきました。見えないところで応援してくださっている人がいることは大きな励みになりましたね」と谷本先生。

「ひざ、ひざ、ひざ!」「そこっ、頭がでてる!」。谷本先生の厳しい指導は続きます。根気よくついていく部員たち。大会が近づくとともに「やらされる練習から、自分からやる練習」へと変化していきました。

マーチングコンテストでは、府大会(9/10)、関西支部大会(9/23)と勝ち抜き、全国大会への出場が決定しました。

顧問も叫んだ、悲願の金賞!

11月19日、運命の日。金賞受賞の発表に、部員たちは歓喜の声!これまで緊



▲厳しい指導のなかにも笑いを忘れない

張感を保ってきた谷本先生も「叫びまくりました。何を叫んだかわからないほど」表彰状を受け取るとき「みんな(部員)のうれしそうな顔が見えて感激でした」と話す部長の幸田亜希さん(3年)は、小学生の時、春の定期演奏会を聴いて入部。吹奏楽部の盛んな高校に進学を希望し「先生、仲間、みんなに支えられた環境の中で、自分が培ったものを活かしたい」と張り切ります。

新部長の岡田咲桜さん(2年)は「テンポについていけず、くじけそうな時も『つらいのは自分だけじゃない』と思ってがんばれた。来年も全国大会に行けるようにひっぱっていきます!」と力強く話します。

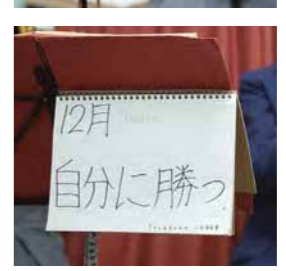
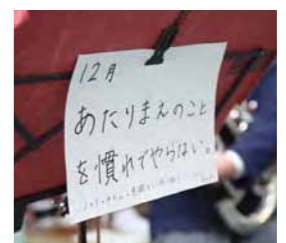
最後に、吹奏楽の指導歴30年になる谷本先生。どんなときに一番喜びを感じているのかたずねてみました。「本番が終わって子どもたちが『今日やりきた!』という顔をしているときですね。」



▲みんなで力を合わせて金賞を掴み取りました!



▲部長の幸田亜希さん(3年)



▲自分との約束の言葉



▲新部長の岡田咲桜さん(2年)

何賞だっていいんですよ。それでも金賞だったら、やっぱりうれしいじゃないですか」と満面の笑み。

生徒と先生、学校と地域、信頼関係の中で成長していく董中学校吹奏楽部の活動をこれからも応援していきましょう。

統率力と前向きな姿勢にエールをおくりたい

大阪市立董中学校 校長 橋本 寛さん

初めて演奏を聴いたとき、衝撃を受けました。楽器に触れたことのない子どもたちが、あのレベルまで演奏できるようになるのかと思うと感動しかありません。

夏の暑い日も倒れそうになりながら、頑張っていました。パート別で練習しており、パートリーダーが指導しているから教えられる側はもちろん、教える側も成長しています。子どもたちの統率力、前向きな姿勢には感心します。

定期演奏会には毎回400人近くの方が来てくださり、地域の皆さんの応援に心より感謝しています。



董中学校吹奏楽部の演奏をお聴きいただけます♪

第9回 スプリングコンサート

と き / 3月31日(土) 14:00~
と ころ / 董中学校 体育館(古市1-18-4)



第14回 城東区吹奏楽フェスティバル

申込不要 無料

“音楽あふれるまちづくり”の一環として、区が実施している区内中学校・高等学校吹奏楽部による吹奏楽の祭典。詳しくはふれあい城東3月号にて!

と き / 3月25日(日) 12:30~(開場12:00)
と ころ / 区民センター2階 城東KADO-YAがもよんホール(中央3-5-45)
問 合 せ / 区役所市民協働課(市民活動支援) 電話6930-9041 ファクス6931-9999

